

おおづまち議会だより

OZU

2022 6月定例会

100号

国会補助施設
はじめました
議会だよりが
読めるアプリ
マチャロ
QRコード
を
スキャン
して
ダウンロード
してください

議会を観ての生の声

6月定例会の傍聴者数のべ44人、ライブ配信再生回数865回 録画配信再生回数255回(7/22時点)

住民と共にある議会になってほしいものです



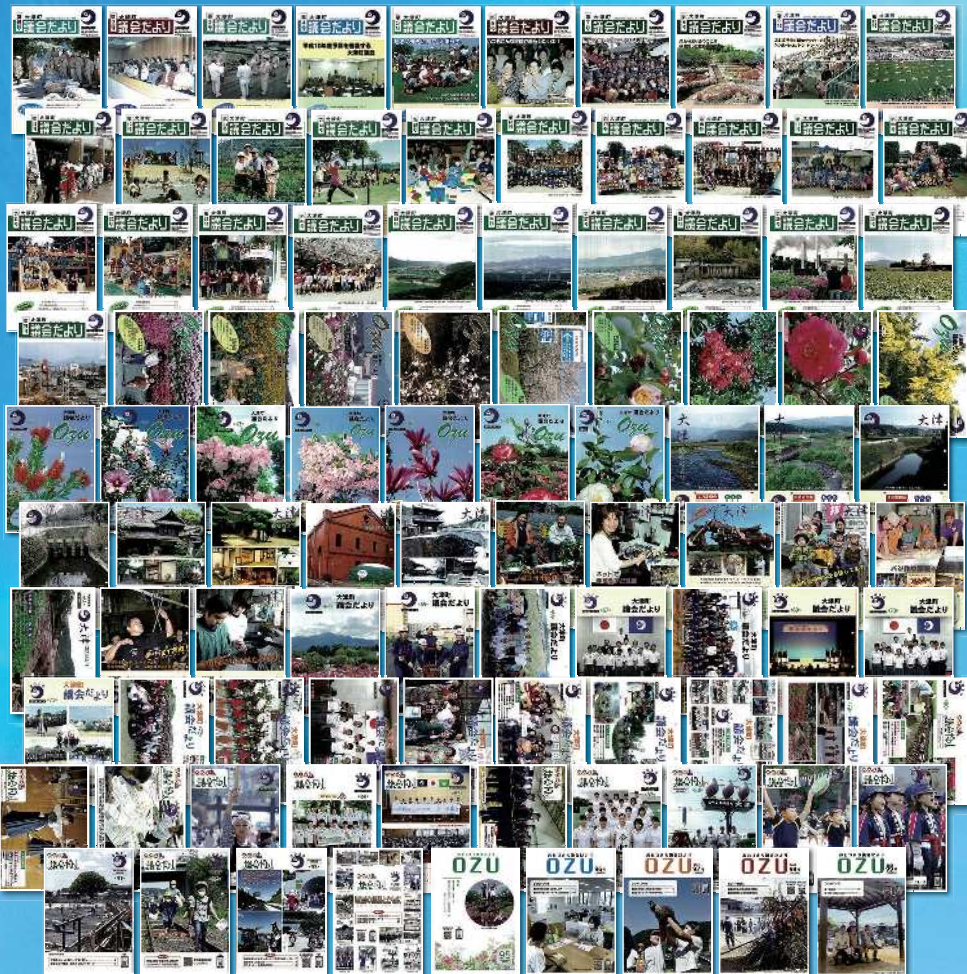
濱口 政勝さん
(大津町杉水)

私が今回、大津町議会を傍聴した理由は、災害対策について一般質問があると聞き及び兼ねてから関心があった為です。

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが近年では「災害は忘れない内にやってくる」、特に幼い頃に近くの親戚の家が土砂崩れで2名が犠牲になる苦しい体験をしている事から、集中豪雨の時期になるとトラウマになっていました。

今回傍聴した議員の一般質問は人吉球磨での自己の経験、過去の災害の教訓、専門的知識を駆使した内容の濃い資料と質問で私にとって大変勉強になりました。町の答弁も災害対応の難しさ、課題の解決等全体に具体的な答弁でありました。災害対策はどんな「完璧な計画」を立ててもシナリオ通りにはなりません。住民の代表である議員と行政がお互いに知恵を出し合うことが重要だと思います。残念なことは議会傍聴者が全体的に少ない事。議場も新庁舎建設に伴い設備、施設も素晴らしくなっているので、もっと広報誌やインターネット配信で活動をしっかり和周知啓発を行ってもらい、住民と共にある参加型の議会になってほしいものです。

CONTENTS ■ 100人インタビュー 2
■ 一般質問 12



UD
FONT
を
採
用
し
て
い
ま
す。
こ
の
議
会
だ
よ
り
は
リ
サイ
クル
推
し
の
た
め
再
生
紙
を
利
用
し
て
い
ま
す。

大津歴史こぼれ話

大津町の文化財のことや、その土地ならではの祭や語り継がれている話を「大津歴史こぼれ話」として、元大津町歴史編集室長の堀内研一先生（故人）にお願いして、平成18年に明日観（明日の観光大津を創る会）から1,300部発行しましたが、どの位の方にお目に止めて頂けたでしょうか？「こぼれ話」の中から一つ紹介します。



「大津駅繁昌記」

大津に鉄道が通じたのは、明治41年9月民間経営の軽便鉄道です。（南千反畑～大津室すど口）大正3年6月には廃止され、同日鉄道省官地線として、熊本～大津間が開通し、現在地に駅舎、待合室、90mの乗降場、線路五線が新設されました。山西村（現西原村）の揺か池（お池さん）を目指したお客さんが、宇土、八代、人吉、後には大阪、北海道からも団体客が来るようになり、駅前道路も五間幅になり、人力車、箱馬車の構内駐車場を設け、宿屋、茶屋、商店が増々大繁昌の時もありました。

姉妹編大津歴史こぼれ話も準備中です。

「明日観会員 高本 梢」

次回定例会は

9月2日(金)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 9月2日(金)～16日(金) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編 集：(委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久

(委 員) 時松 智弘 / 田代 元氣 / 大村 裕一郎

発行責任者：(議 長) 桐原 則雄

令和4年8月1日 第100号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096) 293-8989

編集後記

記念すべき100号発行に携われることに感謝の気持ちでいっぱいです。

改めて創刊号を読み、当時の意気込みを強く感じました。

まずは地方公共団体の意思決定機関としての議会の活動状況を町民の皆様に分かりやすく伝えることです。

そして住民の皆様意見を行政に反映させる点からも「議会だより」が住民と議会、住民と行政の懸け橋として大きな役割を担っていると再認識しました。

今後も議会だよりに関心をお願います。

編集委員長 三宮美香



こうぞう さん
大津町議会には人に寄り添う政治を期待します



奥田 泰行さん
安心・安全に暮らせるまちづくりを願う



今村 春華さん
町民と共に歩み、1人も置き去りにしない議会を



中村 和弘さん
町の潤滑油になってください



江邑 岬さん
地域の代表ということを見守りながら頑張ってください



興梠 美智雄さん
地域の発展のために議会と協力していきたい



赤星 彰さん
将来の子どもたちのために本屋がほしい



大塚 数博さん
防犯パトロール推進で安全な町づくりを



今給黎 幸子さん
暮らしやすい町をつつてくださ



小野 千春さん
暮らしの安心・安全のために頑張ってください



田中 真由美さん
全世代が暮らしやすいまちづくりをしてください



府内 隆博さん
議会、職員、町民が一体で新大津町構築を期待します



古庄 裕樹さん
議会でも農業のことをもっと議論してもらいたい



椎屋 勇さん
質問はわかりやすく、答弁は具体的に



境 和恵さん
健康に力を入れたまちづくりを期待しています



小西 真由美さん
日頃の議会活動をもっと伝えてください



鈴木 トミ子さん
地域の声を届けてほしい



上田 公幸さん
権威主義から解放された議会の継続を期待する



山川 俊生さん
町内全域、乗り合いタクシーの導入に期待



塔尾 祐司さん
大津町の発展に向けて発言できる立場を生かしてください



紫藤 伸二さん
TSMCの進出による、周辺地域の渋滞緩和を是非お願いしたい



歌岡 真太郎さん
老若男女みんなが明るく豊かに過ごせるまちづくりを



曾我 実磨子さん
住民の皆さんが誇れるまちづくり



渡辺 淳一さん
短いスパンでの議会の方の SNS でのショートムービー配信



川上 虹詠さん
大型商業施設の誘致を期待しています



吉田隆・幸江さん
ダンススポーツができる施設を



渡辺 守行さん
キャンプ場の整備をお願いします



市原 易未さん
子育てしやすいまちづくりに期待します



片山 喜久子さん
町民の中に飛び込んで話を聞いてほしい



片山 春義さん
若い人たちに目を向けた取り組みをしてほしい



加來 純一さん
若い方が興味を持つ議題が20年後の大津



太田 雅子さん
書写授業充実の為、学校に専門指導者配置を



相馬 立志さん
コロナ禍、コスト高に苦しむ畜産業への対策を



江口 竜一さん
議決権の重みに誠実であることを期待します



山本 幸延さん
スポーツの設備充実で真のスポーツタウンへ



坂田 英樹さん
新規事業にトライしやすい町にしてください

100人インタビュー **「議会に期待すること」**

桐原則雄 議長

皆さまのおかげで100号を迎えることができました。議会を代表してお礼を申し上げます。皆さまの声を大切に、議会一丸となって活動に生かしてまいります。



佐竹あかねさん
これからも子どもに優しい大津町に期待しています



加藤 奈穂さん
見守り隊の相互連携と危険地区の他無



田代 津洋美さん
多様性の反映、大胆な改革、信頼される議会



本田 由美さん
文化・歴史・人との繋がりが温もりを継承し魅力ある大津町に



緒方 一夫さん
町が変貌する今、想像力溢れる議会に期待



川嶋 克弥さん
いつも応援ありがとうございます。是非、大津町に県営球場の誘致を



田呂丸 莉奈さん
若い世代の意見を聞きつつ町民が安全に安心して暮らせること



山本 健介さん
町政に対する住民の声をしっかり届けてほしい



吉岡 裕美さん
全ての子どもたちが大切にされ力を伸ばせる支援を



浅利 真由美さん
お年寄りに優しい町づくり



今池 一成さん
声なき声をカタチにできる議会に期待



黒川 卓臣さん
全ての大津町民が今も未来も幸せだと思える町づくり



田吹 雅美さん
北小校区の少子高齢化対策と教育費の拡充



荒巻 佳代さん
TSMC 進出もあり、JR 大津空港線を実現してほしい



坂本 健一さん
多様な意見と議論で、より良い議会であってほしい



藤本 拳史さん
公約の有言実行と若者への情報発信



農守 典子さん
町と人を繋ぐ場が議会だと思っています



古場 一美さん
ひとり親家庭の現状把握と支援の改善



緒方 洋子さん
新しい庁舎に負けないように頑張ってください



緒方 祐二さん
町民と行政と議会が三位一体となって良い町を作ってください



松本 光行さん
課題解決のために、地域に寄り添っていただきたい



家入 立身さん
住みやすく、子育てしやすいまちを作ってください



中村 里美さん
不登校の様々な形態に対応できる専門職の雇用



竹本 祐子さん
唐芋横丁なる宿場大津のブランド化



坂本 幸子さん
提案した事ができるのか期日をはっきり示してほしい



坂本 利春さん
一般質問で提案した事は町民にわかりやすく知らせてほしい



西嶋 信行さん
熊本地震、熊本豪雨の教訓や課題を生かしてほしい



芳武 志希子さん
時々、議員さんに来て話を聞きたい



古澤 理恵さん
図書館を使って気づいたことを教えてください



宮岡 郁夫さん
住民の話を聞いて一般質問してください

〈順不同〉

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました

6月定例会議 会期期間9日間 6月8日～6月16日



6月定例会の議案等は

- 予算……………2件
- 条例について……………7件
- その他……………6件

予算

Pick Up 1 新型コロナ経済支援
町民1人2千円の商品券
8912万円

Pick Up 2 新型コロナ経済支援
小中学校給食費補助
676万円

Pick Up 3 過誤納還付金
固定資産税の誤りによる還付
7200万円

Pick Up 4 債務負担行為
体育施設指定管理委託
(令和5年度～9年度)
6億5500万円

条例

Pick Up 1
公立園の再編検討委員会を設置
目的は
園の在り方や再編方針の
進捗状況の点検及び協議

Pick Up 2
町立大津幼稚園民営化に関する
目的は 事業者選定委員会の設置
公平かつ適正に
民間事業者を選定するため

その他

Pick Up 1 工事請負契約
大津北中学校体育館屋根改修工事
5761万円



 中山 直之さん みんなが町議会に関心 が持てる取り組みを	 千田 哲夫さん オークスロビーを議会・ 住民サロンにしませんか	 藤森 保則さん 前例が無ければ大津が 創れ。議会はやる気を出せ	 与縄 智久さん 住民や移住希望者が住 み続けたい便利な町に	 田中 徹也さん 自己犠牲の精神で町を さらに良くする努力を	 後藤 良子さん 住民がいつまでも安心 して暮らせる大津町に
 大村 あずささん 20代～30代に関心を 持ってもらうこと	 尾上 洋子さん 子育てで日本一を目指す なら教育現場に改革を	 大村 裕司さん 困難な時に頼れるウル トラマンでいてほしい	 桑原 三四郎さん 傍聴者が少ないのは議 会の活力不足、勉強不 足	 橋本 千春さん 誰もが訪れたい学び合 う町づくりを	 備海 真佐美さん 声を聴き合い学び合 う町づくりを
 笹井 マサフミさん 観光施策にもっと取り 組んでもらいたいです	 桐原 正喜さん 次世代の青少年が活躍 できる町づくりに期待	 江原 梅夫さん スポーツの町おおづの 実現、子どもたちの夢 を応援	 今吉 一秀さん 町政における危機管理 対策と今後の雇用対策	 内村 勇治さん 子ども達が夢を持つ魅 力いっぱい町づくり	 倉本 照護さん 地域を見る、聞く、歩 くの実践と現状の理解
 安永 昇平さん 持続可能な農業の推進 を	 田上 煌月さん ずっと住み続けたいまち づくりをお願いします	 本田 正治さん 議員の役割をより明確 にしてほしい	 豊岡 研一郎さん 高齢化による後継者不 足、中小企業の活性化 を	 大谷 健さん 子どもが喜ぶ遊具が沢 山ある公園の整備を	 芳野 陽子さん 子ども手当、高校生ま で引き上げを
 三池 一幸さん 女性議員の数をもっと 増やしてほしい	 本田 貴明さん 子育て支援・教育環境 日本一のまちづくりに期 待します	 松永 幸久さん 多くの海外企業が進出する なか、この機会を生かしたグ ローバルな議論を期待します	 高木 一男さん 町内全域の交通渋滞解 消に期待します	 長田 宏二さん TSMC進出に向けて、 町内インフラ整備の促 進を	 谷脇 敏夫さん 町内道路網の改善と対 策に期待します
 高本 梢さん 議会のあり方を検討工 夫し、より良き議会に	 坂梨 裕史さん 日本一の大津町を創る 為、一人ひとりの声を聴 き実現を	 府内 清喜さん 町民のため、是々非々、 初心貫徹で論より実行	 江藤 治美さん 女性に優しいトレーニング ルームの整備を願 います		

(順不同)



議会で答弁される皆さん 抱負をきいてみました



かなだ ひでき
金田 英樹
町長

TSMC進出をはじめ外的変化も的確に捉え、住みよいまちづくりに努めます



さかた みき
佐方 美紀
副町長

住みよい町、そして、選ばれる町をめざして、全力を尽くします



きら ちえみ
吉良 智恵美
教育長

課題とニーズに沿った教育施策の充実に向け精一杯努めます



ふじもと せいじ
藤本 聖二
総務部長

何事にも住民視点で、スピード感を持って取り組んでまいります



さかもと みつなる
坂本 光成
健康福祉部長

「笑顔でつなぐ元気で健やかなまち」の実現をめざします



きむら せんや
木村 欣也
住民生活部長

住民の皆さまの暮らしやすさにつながる行政サービスの提供に努めます



はぐま こうじ
羽熊 幸治
教育部長

子どもたちの「未来に夢が膨らむまち」になるよう環境づくりに努めます



たのうえ かつや
田上 克也
産業振興部長

住民の皆さまの視点に立った農工商併進のまちづくりに努めます



むらやま りゅういち
村山 龍一
都市整備部長

町民の皆さまに、ご理解いただけるよう分かりやすく丁寧に答弁いたします



むらやま ひろのり
村山 博徳
総務課長
選挙管理委員会書記長

地域とともにある役場づくりに努めます



なかい ゆういちろう
中井 雄一郎
会計管理者兼会計課長

公金の安全・確実な出納管理に努めます



うめだ ひろたか
梅田 博隆
農業委員会事務局長

農地等利用の最適化の推進に努めます

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	議員														賛成 (○)	反対 (●)		
	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貢	時松 智弘			田代 元氣	大村裕一郎
大津幼稚園の民営化に係る事業者選定委員会設置	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
インボイス制度導入後のシルバー人材センター事業運営措置	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
町長の給与の一部を改正する条例	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
一般会計補正予算	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席) 早は(早退)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 [検索](#)

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信

荒木 俊彦議員 問 公立保育園等の民営化検討委員会の設置に関して委員構成の中で、民生児童委員と民間の保育施設の代表を対象とされているようだが、利害関係者に当たらないか。

答 利害関係が生じてくることも考えられるので、人選については考慮したい。

佐藤 真二議員 問 事業者が建物を購入する場合に国からの補助金はあるのか。

答 補助金ないと、減価償却に対応していくことは出来ない。一括償却が出来て安定した経営が望めると思う。

答 保育所の整備等の交付金があり、それを活用されるのではないかと考えている。

山部 良二議員 問 熊本地震の際には、市町村と指定管理者間で避難所運営を想定した役割、分担が共有されておらず、避難所運営を想定していなかった。

答 そういうことを想定した避難所運営は考えているのか。

答 災害発生時の、避難所については指定管理者を公募する中で、基準の中に災害時の優先利用ということを明記したい。

時松 智弘議員 問 指定管理者制度が導入された場合でも避難場所の整備と指定は町が責任を持って行う事であり、避難者たる住民は使用者である。災害時の利用では食い違いがおきないよう出来ると思うがどうか。

答 指定管理の施設においても避難所として町が指定をしている場所には、指定管理をする事業者と十分協議をして事業継続に支障がないように協定を結んでいきたい。

田代 元氣議員 問 近隣ではプレミアム商品券という即売券のような商品券を売っている。プレミアム商品券の方が、地域への経済効果があると協力はされたのか。

答 プレミアム商品券は購入することが難しい方もいる。物価高騰にはすべての住民が影響を受けていることもあり、広く、支援が出来ないかということで、一人2000円分の商品券を交付することにした。プッシュ型で、スピード感を持って、対応したい。



すべての町民がスポーツ



◆スポーツ施設の指定管理者制度の導入について

現状と方針

社会体育施設の管理費用は年々増加している状況です。職員も現在の状況としては、スポーツ普及に力を注ぐべきところですが、施設の修繕及び維持管理や貸出業務が中心となりがちで本来の業務に注力できないのが現状です。また、「スポーツの町おおつ」のシンボルである町運動公園の魅力を最大限に発揮させ、新たな経済効果の創出のためにも施設管理の見直しばかりでなく運営の見直しも必要な時期にあります。このために社会体育施設の包括的な維持管理、自由度の高い施設の運営及び様々な自主事業を主体的に実施されることによりスポーツ実施率・施設利用率の向上に期待ができ、さらに魅力的な事業やイベント実施による集客力アップに期待ができる指定管理者制度を導入します。

指定管理者制度

指定管理者の選定手続きを公募とすることで、経費の縮減が期待できます。指定管理者がコスト削減ばかりに目を向けて、住民サービスの低下にならないように定期的にモニタリングを行い適切な指導を行います。また、指定管理者に施設利用者対象にアンケートを実施させ住民ニーズの把握に努めます。

対象施設

- 町運動公園 (球技場、競技場、多目的広場、弓道場、総合体育館)
- 町民グラウンド ・高尾野公園
- 杉水公園 ・山村広場
- 昭和園テニスコート ・町民テニスコート
- 武道館 ・菊阿体育館

今後のスケジュール (予定)

年	月	内 容
4	6	債務負担行為による上限設定・関係条例の一部改正
	7	指定管理者の公募
	10	指定管理者選定委員会
	12	議会・指定管理者指定の議決
5	1~3	協定・引継ぎ
	4	指定管理開始

指定管理者制度へ向けての住民説明会を7月5日と9日に開催

質疑応答

住民より、「現在の料金減免などが引き続き行われるのか」また「利用者にとって不利益にならないか」との質問に対して、「現在の運用を引き続き求める」との答弁でした。

参加者の声

「料金や、雇用内容が変わらずサービスが充実したらいいと思います。」とのことでした。



に親しみ、楽しめる環境へ

町運動公園をはじめとするスポーツ施設の指定管理者制度への移行が検討されており、今後も各委員会では活発な議論を交わしていきます。

総務関連

- Q 災害時指定避難場所に指定している社会体育施設を指定管理者と防災上どのように協議していくのか。
- A 指定管理者へ支払うことになる指定管理料の予算は十分なのか。

経済建設関連

- Q 指定管理に伴い利用料金が上がると町民負担になるが、その点についてはいかがか。
- A 条例で定めてある利用料金が上限となるため、それを超えることはなく、現在より高くなることは考えられない。
- Q 山村広場だけでなく他の施設も同じだが、ある程度整備して引き渡した方がよいのではないか。
- A 現状は施設の修繕が必要な箇所がいくつかある状況である。各施設の巡回を行い、大規模な改修は難しいが、指定管理者が受けられる範囲で不備がないよう手直しを行う予定で考えている。なお、指定管理者を公募し、決まった後は、引き継ぎ期間に業者との意見交換を行い、食い違いがないように対応する。
- Q 指定管理を行う上で、管理方法で指定管理者に求めることはあるか。
- A 募集要項には、現在管理している町内事業者を優先的に採用していただくよう、記載していきたい。
- 意見 今の人たちは、みんなで集まってパーベキューをするといったことが好きだが、公園ではできないし、陽の原キャンプ場も閉鎖され、場所がない。各家庭においてルールを守って行うのであればいいのではとも思うし、杉水公園や高尾野公園等スポーツの施設利用者への場所の提供を認めパーベキューを行うことで利用者間における親睦につながることもあるなど、公園がもっている能力を最大限に活用するためにも、現在のニーズに合わせ公園使用ルールの見直しの検討も必要な時期にきているものと考ええる。

文教厚生関連

- Q なぜ令和5年度からなのか、急ぎ過ぎではないか。
- A 令和3年度より、サッカー場の天然芝の管理を民間へ委託したことに伴い、指定管理について検討を進め、令和5年度から運用開始を目指したいと考える。
- Q 利用者団体などへの意見聴取や説明を行い、利用者の不利益にならないような取り組みが必要ではないか。
- A 体育協会やクラブおおつなどには意見聴取しているが、今後は利用者へのアンケート調査やヒヤリングを行い、募集要項で優先順位をつけ、利用者の不利益にならないよう取り組む。
- Q 指定管理料について、債務負担行為の上限額で可能なか。また、移行後の修繕費についてはどう考えるのか。
- A 債務負担行為は5年間の上限額で算出しており、指定管理者にはその範囲内で運営をお願いする。修繕費については、130万円未満の修繕を指定管理者が、130万円以上については町が行う。
- Q 指定管理者の運営や対応が適正に行われているかの判断は。
- A 年1回のモニタリングと毎月の管理運営会議で確認を行い、利用者からのアンケートや職員が巡回するなど、チェック体制を構築していく。

ひとことメモ

債務負担行為とは ―――
予算は単一年度で完結するのが原則ですが、一つの事業や事務が単年度で終了せずに、後の年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくことです。

経済建設委員会 レポート

物価高騰の波を 乗り越えるために



商品券の交付は
 物価高騰対策の商品券はプレミアム商品券の方が経済効果があるのではない。
 プレミアム商品券の販売を実施する自治体もあるが、プレミアム商品券になると、一度購入する必要がある。購入すること自体が難しい方もおられるので、今回は商品券を交付することとした。

物価高騰対策について
 物価高騰によって農家の方がダメージを受ける状況が長期化していく可能性がある。その点に関して、今後町はどういった動きをしていくのか。
 町は今回、臨時交付金を活用して、支援対策を実施する。また、国、県に支援の要望を行い、農家の方の声を伝えながら継続した最大限の支援を行っていきたい。



牛の様子

文教厚生委員会 レポート

より良いサービスの提供を



給食の調理風景

物価高騰による給食費補助について
 値上げ分の補助金として1食8円とのことだが、10月以降もさまざまな食材等の値上げが報道されている。今後も安定した給食の提供は可能なのか。
 今回の補助はコロナ対応の地方創生臨時交付金で、補助額の設定については現時点での見込みである。
 今後の推移を見ながら、安定した給食の提供に努めたい。

公立園の再編にむけて
 民営化については保護者等への説明は十分に果たしているのか。
 また、現在の会計年度任用職員の雇用はどう考えるのか。
 保護者説明会を開いて説明している。譲り渡す際には、一つ一つ丁寧な引き継ぎを心がけていきたい。
 会計年度任用職員についても希望を聞き、十分な対応をしていきたい。
 意見) しっかり協議し、お互いが納得できる配慮をお願いする。



町立大津幼稚園

委員会レポート

総務



経済建設



文教厚生



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

総務委員会	総務・企画・会計・監査、環境、住民、議会
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育

総務委員会 レポート

未来へつながる 施策・対策の推進を



肥後大津駅南口の活性化を

肥後大津駅の観光拠点活性化は
 来年3月に阿蘇熊本空港の新空港ビルがオープンするが、駅活性化に関連し補助金の活用は出来ないか。
 また、駅のビジターセンターに町内店舗情報やイベントの案内等ももっと強くアピールできないか。
 県交通政策課等へアプローチし、空港新ビルに連動した企画を検討する。映像広告を設置し観光案内する企画も考えている。回遊性を高めるよう取り組む。

旧清掃工場の解体スケジュールは
 東部清掃工場については解体後土地が町に返還される事になっているがスケジュールは。また管理する事務組合が変わるため、書面等を作成しておく必要はないか。
 解体費用は8億円必要で、2市2町で積み立てを行っている。解体にかかる工事設計を令和6年度、解体工事を令和8年度までに行う予定となっている。
 また事務組合と協議書を作成し、それをもとに必要な協議を行い手続きに漏れないようにする。



解体予定の東部清掃工場

Q マイボトル(水筒)対応冷水機の設置を

A 入れ替えが必要な時期が来ている施設から設置したい



豊瀬 和久議員

現状の写真



施工例



非接触式で感染症予防対応
※触らずにマイボトルに汲めます！

Q 大津町地球温暖化対策実行計画を、より実効性のあるものにするための取組として、プラスチックを減らすために、マイボトルへ直接、冷水を入れてられる冷水機を、総合体育館や庁舎などの公共施設に設置するべきではないか。

A マイボトルの利用によるペットボトル削減は、プラスチック製品の過剰生産、海洋汚染問題を解決する有効な手段の一つであり、給水スポットの普及は、その後押しになるものである。また、水資源について深く考えるきっかけにできると認識している。そこで、入れ替えの必要な時期がきているところを中心に、給水スポットの設置と、大津町の魅力的な水資源をPRできる施設の選定を指示している。(町長)

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について。
- ・乗合タクシーの対象エリアと乗車・降車区域の拡大について。

Q 安定的な提供と業務の効率化を

A 今後も安定した供給を行いたい



田代 元気議員



大津町学校給食センター

Q 近隣自治体と比較し給食費が安いとされているが、今後ともTSMCの進出などで人口増加も予想されるが、現在のセンターだけで十分な対応が可能なのか。

A 地元J-Aとの連携や4000食を超えるスケジュールメリットを活かせる食料の調達が可能だったが、これまでの方法では現在の世界情勢の中、解消できなくなっている。今後も保護者の負担を軽減しつつ安定した給食の提供を行いたい。また、公会計についても、さまざまな観点から、早期の導入を考えたい。(教育長)

その他の質問

- ・保育士の処遇改善について

一般質問

町政を問う 6月定例会

一般質問に16名中12名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信が始まりました。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q 実効的な避難所運営の訓練と防災士活用を

A 今後は実践的な活動への補助に移行していく



時松 智弘議員



避難所運営訓練に効果的な補助を

Q 災害時避難所の指定は災害対策基本法第49条に定める市町村の義務行為であり、避難所の運営主体は防災計画で地域のコミュニティとしている。役場職員が24時間体制で避難所に常駐するのは本来の業務を阻害する。避難所生活は、コミュニティの濃縮と考え、実際に命を守る自主防災組織の避難所運営訓練が必要だ。

A 避難所開設から職員に災害対応等の応急業務に加え、非常時優先業務に該当する中、通常業務を実施することが必要。避難生活が長期化する場合は、早期に避難者による自主運営に移行することが重要で、自主防災機能の強化に加え、平時における行政と地域の共通認識の構築や、訓練が必要だと考えている。今後は実践的な活動への補助の移行を考えており、好事例等の共有をしながら防災力を高めていきたい。(町長)

その他の質問

- ・水害の際の下水道施設の保全と避難場所のトイレの汚泥処理について

Q 清潔で管理しやすいゴミステーション補助増額を

A ゴミ収集処理は町の責任として、調査検討する



荒木 俊彦議員

ゴミステーション 補助金額の例 高尾野森林公園

補助の種類	大津町		新岡町		南山村		西条市	
	補助率	補助額	補助率	補助額	補助率	補助額	補助率	補助額
新設	1/2	5万円	1/2	5万円	2/3	30万円	2/3	25万円
取壊など	対応なし				2/3	15万円	2/3	25万円
ネット交換等	対応なし		1/2	5万円				
資源物保管庫	なし		2/3	10万円	2/3	15万円		



町営住宅に設置されたゴミステーション市販価格は、1台20万円前後

その他の質問

- ・高尾野森林公園外周に遊歩道整備を

Q 住民生活から排出される家庭ごみの収集は町の責任。清潔で管理しやすい「ゴミ収集ステーション」は町民生活の維持に欠かせない。町営住宅に町が設置しているゴミステーションは20万円以上費用がかかる。同じ物を自治会が設置したら町の補助は最高で6万円だけ。あまりにも少ない。またアパート管理者などにゴミステーションの義務化が必要ではないか。

A 再生資源保管所設置補助が必要ではないか。A 町の収集処理は町の責任であり、住民の関心の高い問題である。町内には約1330カ所のゴミステーションがあり、自治会や住民の方の要望を聞き、他自治体の状況も調べ研究する。アパートなどへの設置は開発指導要綱に基づき指導している。再生資源物の確実な収集はゴミ減量化につながり、民間回収も含めて必要と考える。(町長)

Q 送金システムは万全か

A 会計課と銀行間の送金システムは万全と思う



坂本 典光議員



大津町の会計課

その他の質問

- ・家族愛、高齢者を大事にすること、国を愛すること

Q 人口およそ3000人の山口県阿武町で低所得者層を対象とした新型コロナウイルス対策の給付金463世帯分4630万円を誤って別途24歳の男性の口座にも振り込むという二重送金が起こった。大津町の送金システムは大丈夫か。町民を守るために、個人がATMから送金する時の注意点を呼びかけるべきではないか。

A 決済後の支出伝票の総合計と会計係長のデータの総合計及び伝票の支払い状況の総合計3つが合致した後、指定金融機関にデータを送信している。自信を持って間違いないと言ったことができる。(会計管理者)

A 送金システムは万全と思っているが一方ではミスが起こることを想定して注意したい。個人の送金ミスは広報誌で注意を促す。(町長)

Q 立野ダム名称変更を

A 関係部署との協議があり、名称変更は難しい



山本 富二夫議員



夜間工事中の立野ダム

その他の質問

- ・都市計画と農振区域の見直しを
- ・町職員の鳥獣免許取得を

Q 南阿蘇村の立野地区と大津町内牧区北向山原生林との間に治水対策の為に立野ダムが建設されている。大津町と南阿蘇村の間に建設をされているのに、名称が立野ダムではなく、名称が立野ダムは大津町民としては違和感を感じる。大津・立野ダムの名称変更を国土交通省や関係部署に強く要望すべきだと思ふ。

A 過去に大分県でななせダムというダムが、変更した事例がある。流域が大分市の一自治体であったので、名称の変更が出来たと伺っている。景観の整備方針の検討がなされている。(町長)

A ダムに関わる白川流域の沿線自治体が多いため、一自治体の要望のみで変更することは難しい。変更には、再度名称の選定や、流域の八市町村の総意が必要となる。現段階から大津町主導の名称変更は難しいと認識。(町長)

Q メガソーラー建設の安全性を問う

A 地域住民の安心安全な暮らしを守る



山部 良二議員



その他の質問

- ・会計年度任用職員 処遇改善について
- ・コロナ禍における障害者・要支援者等に対する合理的配慮の提供について

Q 日本各地でメガソーラーの建設が相次いでいる。本町でも、新たにメガソーラーの設置工事が着手されようとしている。確かにクリーンエネルギーには温暖化を防ぐために、必要なエネルギーだと考えるが、森林の伐採に伴い、山の保水力が失われ土砂災害を誘発する危険性もある。平川と堀ヶ谷川の合流地点を調査したが、バックウォーター現象が起こりやすい地形ではないか、今後の線状降水帯による豪雨災害の危険性を考えれば、太陽光発電設備

の適切な設置及び維持管理等に関する条例が必要ではないか。メガソーラー自体を規制する国の法整備が進んでいない現状がある中、独自にメガソーラー建設を規制する条例を制定している市町村も増加している。係争となっている地域もある状況ながら、条例の制定には一定の抑制効果があると考えられている。住民の安心安全を守るため条例を制定すべきと考えている。環境保全課・防災交通課などと連携しながら本格的な調査・協議を慎重に進めていく。(町長)

Q 「協定」「実証実験」の説明が不足

A 意見を踏まえ、再度議論し判断する



佐藤 真二議員



昨年5月頃に行われた実証実験
実験の結果もその後の対応も不明

その他の質問

・不登校児童・生徒の民間施設での活動への経済的支援

Q 例えば姉妹都市など過去の協定は途絶えたままのものがある。大学などとの包括的連携は現在の状況がわからなく、そしてこの1年数か月間の町長就任後に結ばれた協定の中には、理念のみが説明され、具体的な内容や活動や成果、町の負担が全く見えないものも多い。これらを今後どのように説明していくか。

A 包括協定の場合には、協定を結んだものの、具体的な動きが住民にわかりにくいことや、取組が曖昧になること、さらに、過去に結んだものも形だけ残るといふ点も起こり得る。新たな協定締結では、必ず当初に取り組む具体的な内容を決め、広報を中心に発信しているが、導入の部分がメインになってしまっている。過去の協定に関しては、今回洗い出したので、新たな協定も含め、今後しっかりと整理する。また、より詳細な目的や成果を含めた住民への説明に関しては、改善の余地があるので、説明に努める。(町長)

Q 安心して使用できるトイレに

A 誰でも安心して使用できる観点は重要



三宮 美香議員



学校トイレ個室に設置された生理用品

その他の質問

・工場進出による環境汚染の懸念に関する問題について
・大津町の活性化のためにPR大使を設置任命してはどうか

Q 昨年の9月に「学校のトイレに生理用品をトイレットペーパーと同様に常備できないか」と提案があり、準備ができた「学校から進める」と回答が出ていたがその後、進んでいるのか。「安心」という意味でも設置は進めるべきだ。

A 昨年の9月に「学校のトイレに生理用品をトイレットペーパーと同様に常備できないか」と提案があり、準備ができた「学校から進める」と回答が出ていたがその後、進んでいるのか。「安心」という意味でも設置は進めるべきだ。また、男性も病気が加齢により尿漏れパットが欠かせない人がいる。高齢化・多様化社会への対応としても、男性トイレにも必要な配慮を考えるべきではないか。

A 昨年の提案を受け、各学校でアンケート調査や性に関する教育を実施した上で常備している。基本的にトイレ個室に工夫して設置し、現在は全ての学校に常備している。(教育長)

A 誰でも安心して使用できるトイレの観点は重要だと認識している。地域福祉で目指す項目の一つである「外出の機会を増やすことでの社会参加の推進」にも影響が出ると思われる。まずは役員男性用トイレへのサンタリーボックス設置を進めていきたい。(町長)

Q 肥料、飼料の高騰への対策は

A 農業者に対して事業者支援対策を行う



大村 裕一郎議員



その他の質問

・有害鳥獣対策について

Q 現在、農業において必要な肥料や飼料は為替相場の急激な円安への進行や原料の産出量の多い国からの輸出停滞、国際市況の高騰により史上類を見ないような高騰を見せている。このままでは、多くの農業に従事している方が壊滅的な打撃を受け離農せざるをえない状況に追い込まれてしまう。早期に協議を開始し、対策を打つべきではないか。

A 物価高騰の影響を鑑み、大津町として原油及び物価高騰の影響を受けている農業者に対し、事業者支援対策を行う。また、新型コロナウイルス感染症や円安、ウクライナ情勢などを踏まえると現在の状態が長期化する。ことも懸念されるため、国、県の価格高騰に対する支援を注視し、早急かつ実効性のある緊急対策の早期実現を国へも強く働きかけていく。(町長)

Q 保護者負担軽減の為、学校給食を無料化へ

A 現状では全児童生徒の給食費無料化を直ちに実施する事は難しい



西川 秀貢議員



その他の質問

・農業及び商工業の後継者及び事業承継について
・コロナ禍の中での本町の学力向上の取り組みについて

Q TSMCの進出により、本町にもチャンスが来ている。給食費の無料化により、子育てしやすい環境を整え、子育て世帯の定住と新たに流入を促す事が、住民税の増収や子育てに係る消費の拡大に繋がり、経済の活性化に繋がる。目先の事だけでなく先を見据えた町独自の施策が必要ではないか。給食とは食育にも活用されており教材でもある。義務教育の範囲に入るべき、そう言う考え

A 本町にもチャンスが来ている。給食費の無料化により、子育てしやすい環境を整え、子育て世帯の定住と新たに流入を促す事が、住民税の増収や子育てに係る消費の拡大に繋がり、経済の活性化に繋がる。目先の事だけでなく先を見据えた町独自の施策が必要ではないか。給食とは食育にも活用されており教材でもある。義務教育の範囲に入るべき、そう言う考え

A 本町は長年、小中学生は増加傾向、また未就学児も上昇傾向であり、TSMCの動きもあり増加していく事が見込まれている。今、住暮らし子供たちの為に学校の増築、学童の新設、給食センターの建て替え等が必要となる。財政的な制約がある中で、全体的な予算、数字の分析、ともに考えていく必要がある。(町長)



永田 和彦議員

- ※新型コロナウイルス接種について
ワクチン接種の推奨や罹患後の後遺症発症など
- ※スマホやPadの教育におけるデメリットについて
ビルゲイツやスティーブジョブズはなぜ自分の子供たちに使用制限したのかなど
- ※JR九州と県と大津町
JR九州は空港接続駅を肥後大津が有望、TSMCは自分を中心に円を描く、町の戦略が見えてくるなど
- ※町民の皆様にも願ひ申し上げます。
議会便りの内容はそれぞれの主観に基づいて書かれ実際の議会内容とは違うと思われるものもあります。
録画記録を配信しておりますので議員各位の議論を観て評価をお願いいたします。

※新型コロナウイルス接種について
※スマホやPadの教育におけるデメリットについて
※JR九州と県と大津町



文教厚生委員会
視察レポート

令和4年5月31日 阿蘇農村公園あびか
阿蘇市 公共施設指定管理についての行政視察



公共施設指定管理についての先進自治体である阿蘇市の「阿蘇農村公園あびか」について担当課と管理者である(株)ASOワークネット様から説明を受けました。
阿蘇市では行政からの年間支出額は約2300万円、あびかの他、体育館、一の宮町にある運動公園の維持管理、運営もされています。
あびかの陸上競技場は年間30以上の大学・社会人の陸上部が合宿に訪れており、地域への経済効果の発展にも寄与しているとのことでした。
また、視察当日も女子実業団陸上部が合宿を行っていました。
社会体育施設の予約方法についても、オンラインで予約可能で、空き状況の確認も行うことができ、簡単に予約ができる仕組みができていました。
今回の視察を受け、町民へのサービス向上につながるようにつとめます。

初めての議会傍聴と感想

現代文化学部1年 坂本 奈穂

現代文化学部1年 佐藤 琴音

6月14日に行われた議会一般質問を大津町議場で午前中傍聴し、その後社会調査法という授業の受講生に感想をまとめてもらい、授業内で発表会を行いました。

若者の視点
尚綱大学生によるレポート 28



私は議会の傍聴も議場に入ることも初めてだった。テレビで見る議会映像と違い、実際に議場の張りつめた雰囲気や、質問する議員の真剣な表情を見て、私たち市民の声を代弁してもらっているのだと感じた。議場に入る際、質問する議員が使う資料が配られた。資料は議場にあるモニター画面にも大きく映されるため、とても見やすく、議会についてあまり知らない私にも聞きやすいものだった。議員は改善策を提示するだけでなく、それを裏付けする根拠となる条例や町の現状を徹底的に調査されていて、議員の苦労やこの問題を解決したいという思いが感じられた。印象に残った一般廃棄物収集、再生資源回収、環境美化思想の普及、ごみステーションの設置の義務付け、補助金交付額の適切性という3つの点が提案された。ゴミステーションについての説明の際、「コロナで通販が増え、段ボールなどの資源物も増える」といった自らの実体験を述べていたことに親近感を抱いた。ごみの問題は津町だけでなく、私たちの身近にある課題なのだ改めて感じた。

議会全体の様子に関しては、各議員が一般質問をする議員の話聞きながらメモをする風景がみられた。また、それぞれの席にタブレットが配置されており、皆さんは調べたりしていた様子もあった。タブレットの利用や議会の様子を撮影してモニターで映し出していることなど、積極的にデジタル機器を活用していることがわかる。住民から集めた声を重視し、問題点と思う点についてそれらが改善されるよう、真剣に自身の考えを述べている様子が印象的だった。

印象に残った一般質問(高尾野森林公園遊歩道整備)とその感想

いつも身近に感じていた大津町に、高尾野森林公園という場所があることを初めて知った。木などが生い茂っていることもあり、イノシシやシカは高頻度で出没するため、そのリスクを減らしていく必要があると思った。高尾野森林公園をさらにPRすることで、森林浴などのアウトドアにも活用できると感じた。